

第 1 0 回
のみ検定試験
2 級
問 題 用 紙

(午前 1 0 時 3 0 分開始 制限時間 6 0 分)

- ※ 開始の合図があるまで中を見ないでください。
- ※ 解答用紙の記入にあたっては、H B または B の黒鉛筆、シャープペンシルを使用してください。
- ※ 解答はすべて解答用紙に記入し、提出してください。

令和 8 年 2 月 1 日

のみ検定試験実行委員会

次のそれぞれの問題をよく読んで、解答用紙に正解と思われるものの番号を○で囲んでください。

(問題1)

能美市一帯をはじめ、広く加賀地方で冬の保存食として親しまれた「おくもじ」は、()した菜の花や大根を使用して作る伝統的な家庭料理である。

- ① 醤油漬 ☒ ② 塩漬 ③ 味噌漬 ④ むか漬

(問題2)

能美市では親子が気軽に自由に過ごせる場として、「子育て支援センター」のほかに、社会福祉協議会が運営する「()サロン」が開設されている。

- ① 母親 ☒ ② 親子 ③ 父親 ④ 家族

(問題3)

「KAM 能美市九谷焼美術館 | 体験館 |」では、「九谷焼ウルトラマンシリーズ」の絵付け体験ができ、自分だけのオンリーワンのフィギュアが描ける。描き上げた作品には一体ごとにシリアルナンバーが付与され、「()」もプレゼントされる。

- ① キーホルダー ② シール ③ バッジ ☒ ④ しおり

(問題4)

能美の秋祭りに付き物のごちそうである自家製の「押しずし」は、熊笹の代わりに()の葉を使う地域もある。

- ① ほお 朴 ② はす 蓮 ☒ ③ かき 柿 ④ かえで 楓

(問題5)

九谷焼作家として初の日本藝術院^{げいじゅついん}会員であり、石川県在住者として初の文化勲章受章者である二代^{あさくら いそきち}浅蔵五十吉は、晩年白金を用いた「()」と呼ぶ独自の彩色法に取り組み、生涯を通じて新たな表現を追求した。

- ☒ ① はくよう 白陽 ② はくげつ 白月 ③ はっこう 白光 ④ はくうん 白雲

(問題 6)

1996(平成 8)年に能美市無形民俗文化財に指定された「粟生の獅子舞」では、棒のほかになぎなた、太刀、()を武器とし、武芸の基本を取り入れた勇壮さが持ち味となっている。

- ① くさりがま 鎖鎌 ② やり 槍 ③ ゆみ 弓 ④ むち 鞭

(問題 7)

1923(大正12)年、国から鉄道免許の交付を受けて能美電気鉄道(能美電)が設立された。1925(大正14)年 3 月から 8 月までに第 1 期工事である新寺井一天狗山間が開通したが、第 2 期工事の遅れにより、()までの全線が開通したのは1932(昭和 7)年だった。

- ① つるぎ 鶴来 ② しんつるぎ 新鶴来 ③ か が いちのみや 加賀一宮 ④ いわもと 岩本

(問題 8)

トミヨはトゲウオ科に属する淡水魚で、通称ハリンコという。産卵期を迎えると、オスが水草などを集めて()のような巣を作る。

- ① ハチの巣 ② ひょうたん ③ お椀 ④ ピンポン球

(問題 9)

能美市内の外国人労働者や在住外国人が抱えるさまざまな課題やニーズに対応すべく、支援などを担う能美市国際交流協会が設立され、()を事務所に活動している。

- ① 寺井地区公民館 ② 辰口福社会館 ③ 白寿会館 ④ 地域共生交流館

(問題 10)

1934(昭和 9)年()月11日に手取川史上最大ともいわれる被害を出した大洪水が発生し、堤防の決壊は39カ所、延長15kmに及ぶ^{いっすい}溢水は約3000ha の一大湖水となった。

- ① 1 ② 4 ③ 7 ④ 10

(問題 11)

明治時代には海岸砂丘に（ ）の防風林が造られたが、北陸自動車道や町道木曾街道線の建設によって松林の様相が大きく変わり、現在は能美市山口町や大浜町地内にわずかに往年の面影が残っている。

- ① 赤松 ② 五葉松 ③ 黒松 ④ 大王松

(問題 12)

かつて市民の足として利用されていた能美電気鉄道(能美電)は、廃線後に辰口地区から寺井地区の約10kmが歩行者・自転車専用の「（ ）ロード」として整備された。沿道には田園地帯を中心に約2000本の桜並木が続いている。

- ① 健康 ② 桜 ③ いきいき ④ ハマナス

(問題 13)

1836(天保7)年創業の辰口温泉「まつさき」は、明治の文豪・泉鏡花^{いづみきょうか}ゆかりの宿として知られ、小説『（ ）』の舞台にもなった。

- ① ^{うみ な とき}海の鳴る時 ② ^{こうやひじり}高野聖 ③ ^{おんなけいず}婦系図 ④ ^{ぎけつきょうけつ}義血侠血

(問題 14)

能美古墳群は、能美市の平野部に点在する5つの独立丘陵上に分布する。現在、（ ）古墳群を中心とした保存整備事業が進められている。

- ① 寺井山 ② 末寺山 ③ 西山 ④ 秋常山

(問題 15)

「能美ふるさとミュージアム」に展示されている国内最古の^{こくしよ}刻書（ ）には、「未」と刻まれており拡大ルーペで確認することができる。

- ① ^{とうき}陶器 ② ^{じき}磁器 ③ ^{せつき}石器 ④ ^{すえき}須恵器

(問題 16)

能美市出身の加賀大介^{かが だいすけ}は、1948(昭和23)年に()新聞が募集した全国高等学校野球選手権の大会歌に、婚約者(のちに妻^{みちこ})の道子さん名義で応募した。

- ① 毎日 ② 産経 ③ 朝日 ④ 読売

(問題 17)

能美市は地域の魅力を掘り起こし、その輝きを内外に発信することによって、旅行者の増加や移住・定住人口の獲得、企業誘致など地域の活性化を図る取り組みである()プロモーションを積極的に推進している。

- ① コミュニティ ② エコロジー ③ シティ ④ セールス

(問題 18)

「根上り七夕まつり」は、1966(昭和41)年の第6回から七夕の織女星^{しょくじょせい}にちなんだ七夕飾りで「()のまち」の歴史を伝えるビッグイベントとなった。

- ① 着物 ② 羽衣 ③ 繊維 ④ 織物

(問題 19)

「蟹淵^{がんぶち}」は古来、雨乞^{あまご}いの場として知られ、大蟹が住むとの言い伝えがある。その言い伝えを北國新聞社などが企画して、昔話『鍋谷川の蟹淵』として()化した。

- ① アニメ ② 舞台 ③ 小説 ④ ドラマ

(問題 20)

能美市は第2次総合計画におけるテーマとして、「市民が躍動し、()が輝く^よ能き美しきまちづくり～暮らしやすさを日本一、実感できるまち～」を掲げている。

- ① 能美 ② 地域 ③ 人財 ④ 文化

(問題 21)

能美市内の国造地区で栽培されている「国造ゆず」は、1986(昭和61)年から本格的に栽培が開始された特産物である。例年収穫時期の()月上旬の休日には直売イベント「国造ゆず祭り」が開催されている。

- ① 5 ② 8 ③ 11 ④ 2

(問題 22)

「和気^{わけ}の岩」を作り上げた火山活動が活発だったころ、日本列島はまだアジア大陸と陸続きであった。「和気^{わけ}の岩」は、()がまだ登場していない太古の北陸地方の姿を今に伝える「生き証人」でもある。

- ① 魚類 ② 人類 ③ 鳥類 ④ 恐竜類

(問題 23)

能美市では九谷焼を用いたまちづくりが多彩に行われており、市内 10 カ所の郵便局に設置された「()ポスト」には、各局の風景印が絵付けされた九谷焼のオブジェが載っている。

- ① ご当地 ② 名勝 ③ 伝統工芸 ④ 春夏秋冬

(問題 24)

能美市指定天然記念物の一つ「()神社社叢^{しゃそう}」は、『延喜式神名帳^{えんぎしきじんみょうちょう}』に名を連ねる()神社の神域である。樹齢約350年のスダジイをはじめ、多くの古木や珍しい樹木などが繁っている。

- ① 瀧浪^{たきなみ} ② 坪野八幡^{つぼのはちまん} ③ 宮竹日吉^{みやたけひよし} ④ 狭野^{さの}

(問題 25)

能美市にある北陸最大級の前方後円墳、秋常山 1 号墳の全長は約()mである。

- ① 90 ② 140 ③ 190 ④ 240

(問題 26)

能美市合併10周年記念曲『Song Of Nomi』を作曲したジャズトランペッターの()氏は、曲の構想を練るために広く市内に足を運んだ。

- ① 阿木燿子 あきようこ ② 大野俊三 おおのしゅんぞう ③ 大月さゆ おおつき ④ 村木海季男 むらきみきお

(問題 27)

能美市には世界的に有名な大企業からキラリと光る多様な企業が立地しており、「いしかわ()パーク」では、民間企業との共同研究開発など産学官が連携した取り組みも行われている。

- ① インダストリアル ② テクノロジー ③ ローカル ④ サイエンス

(問題 28)

能美市岩本町にある能美市指定史跡「岩根宮」は義経伝説にも登場し、一行が白山(本宮)を拝もうと訪れた途中、岩根宮の()観音に詣でて、武運を祈願したとされている。

- ① 十一面 じゅういちめん ② 千手 せんじゅ ③ 如意輪 によりん ④ 馬頭 ばとう

(問題 29)

根上学習センターの「子ども宇宙科学室」には、能美市大成町で()に落下した「根上隕石(複製品)」や隕石が直撃した実物などが展示されている。

- ① 保育園の遊具 ② 自動車のトランクカバー
③ 道路の案内標識 ④ 住宅の屋根

(問題 30)

1987(昭和62)年ごろから能美市末信町で本格栽培が始まったハトムギを使用したペットボトル茶「ブレンドはとむぎ茶」は、「JA 能美」で2012(平成24)年に販売を開始した。能美市産のハトムギ、()、玄米を使用したまろやかさと口当たりの良さが特徴である。

- ① 大麦 ② 粟 ③ トウモロコシ ④ 大豆

(問題 31)

「いしかわ動物園」では、2010(平成22)年から近縁の()ライチョウの飼育・繁殖はんしよくに取り組み、2017(平成29)年からニホンライチョウの飼育に着手。2019(令和元)年からその繁殖にも取り組んでいる。

- ① カラフト ② スパールバル ③ オオジロ ④ エゾ

(問題 32)

能美市は、()・イルクーツク州のシェレホフ市と姉妹都市協定を結んでおり、少年使節団の相互訪問をはじめ、親善と交流を深めてきた。

- ① ロシア ② ノルウェー ③ フィンランド ④ ポーランド

(問題 33)

能美市寺井町出身の鈴木紀は、山田五十鈴すずきのり主演の『祇園()』、高峰秀子たかみねひでこ主演の『チョコレートと兵隊』などの名作を手がけ、黎明期れいめいきの映画界で数少ない女性脚本家として活躍した。

- ① 時雨しぐれ ② 秋雨あきさめ ③ 慈雨じう ④ 霧雨きりさめ

(問題 34)

能美郡は、平安時代前期に加賀国が立国した際に江沼郡から分立して誕生し、「野身のみ・軽海かるみ・山上やまがみ・山下やました・()」の5郷で構成された。

- ① 国造こくぞう ② 国府こくふ ③ 中海なかうみ ④ 兎橋うはし

(問題 35)

能美市の「JA 根上」では、「子どもたちにもっとお米を食べてほしい」と米離れを嘆く能美のお母さんたちが考えた「()」というファストフードを販売している。ごはんで作ったバンズに地元の野菜を使った総菜を挟んでおり、土産品としても人気である。

- ① ごはんどっぐ ② ごはんどいち ③ ごはんべ〜ぐる ④ ごはんば〜が

(問題 36)

能美市吉原釜屋町地内の「北陸自動車道・能美根上（ ）インターチェンジ」は、石川県初の本線直結型である。

- ① クォーター ② スマート ③ 一般形 ④ ハーフ

(問題 37)

能美市の「東方萬寿堂」は1935(昭和10)年創業の老舗和菓子店で、「茶碗もなか」として地元で長年愛されてきた「九谷（ ）お茶碗」が有名である。九谷焼をモチーフにした薄く繊細なもなかに、やわらかで上品な甘さの餡が包み込まれている。

- ① さとやま 里山 ② ごさい 五彩 ③ おんせん 温泉 ④ しょうざ 庄三

(問題 38)

能美市火釜町出身で、民選2代目の石川県知事である田谷充実^{た や じゅうじつ}が初当選した知事選では、（ ）村民挙げての熱狂的に繰り広げた選挙運動が、今でも地元で語り草になっている。

- ① さとかわ 里川 ② やまがみ 山上 ③ ひさつね 久常 ④ こくふ 国府

(問題 39)

1961(昭和36)年に手取川宮竹用水とセヶ用水は分水協定を締結し、1967(昭和42)年以降は安定した（ ）用水が確保されるようになった。

- ① 養殖業 ② 農業 ③ 林業 ④ 鉱業

(問題 40)

「能美ふるさとミュージアム」には、「能美の誕生」「白山（ ）が描かれた時代」「能美電が走っていた時代」「電化製品が広まる前の暮らし」「能美の自然」の5つのテーマ展示室が設けられている。

- ① まんだら 曼茶羅図 ② きりえ 切絵図 ③ ぎ が 戯画図 ④ し き かちょう 四季花鳥図

(問題 41)

能美市来丸町にある「物見山運動公園」では、年1回「() ごっこ」が行われており、子どもたちがハンター役の大人と一緒に楽しんでいる。

- ① さとやま ② トレジャー ③ のみ ④ 逃走中

(問題 42)

能美市長滝町にある「瀧浪神社」は、由緒ある古社として知られる。平安時代の『延喜式神名帳』に記載されている式内社で、旧社地は七ツ滝の()にあったとされる。

- ① 滝上 ② 麓 ③ 脇 ④ 滝裏

(問題 43)

能美市に5件ある国指定文化財の内、『関白内大臣家歌合』は関白になったばかりの藤原()の家で、1121(保安2)年9月12日に行われた歌合の内容を記したものである。

- ① 頼通 ② 忠通 ③ 道長 ④ 基俊

(問題 44)

能美市和気町出身の加賀耿二はプロレタリア文学の作家として活躍し、「須井一」のペンネームで自伝的小説『綿』、長編小説『()風景』などを発表し高く評価された。

- ① 有田焼 ② 九谷焼 ③ 清水焼 ④ 薩摩焼

(問題 45)

辰口温泉は開湯1400年とされる歴史ある名湯である。度重なる洪水で埋まってしまった温泉を、1834(天保5)年に来丸村の()が復旧に着手し、2年後についに泉源を掘り当てたという。

- ① 勘助 ② 長助 ③ 源助 ④ 万助

(問題 46)

「KAM 能美市九谷焼美術館 | 浅蔵五十吉記念館 |」は、二代浅蔵五十吉と親交のあった日本藝術院会員・() が設計した建物である。

- ① 黒川紀章 ② 安藤忠雄 ③ 谷口吉郎 ④ 池原義郎

(問題 47)

金沢や南加賀では、出産が近づくと嫁の里から嫁ぎ先や親類などに、「ころころ団子」とよばれる () のお餅を配る風習がある。

- ① ひし形 ② 楕円形 ③ 三角形 ④ 扇形

(問題 48)

イトトンボ科に属するルリイトトンボは、北海道や東北、上信越地方や石川、福井、岐阜で生息し、通常 1000m 以上の高地でしか見られない。県内ではほぼ「()」だけで確認される。

- ① 和気の池 ② 七ツ滝 ③ 蟹淵 ④ 手取川

(問題 49)

能美郡鍋谷村(現能美市鍋谷町)で代々肝煎役を務める家に生まれた杉本庄兵衛は、村を() から救うため、谷間にある家々を日当たりの良い南面の山すそに移し、その跡を開墾して耕作面積を増やす「家立ち開墾」を計画した。

- ① 紛争 ② 土砂崩れ ③ 洪水 ④ 飢え

(問題 50)

「薬師まつり」を起源としている「辰口まつり」は、例年 8 月下旬に () 周辺で開かれる能美市三大まつりの一つで、一番のハイライトは夕刻から行われるじょんから踊りコンクールである。

- ① 辰口温泉広場 ② いしかわ動物園 ③ 能美市役所本庁舎 ④ 辰口図書館

(問題 51)

旧能美市立博物館が2014(平成26)年に刊行した『() 能美の民話』には、代表的な21編の民話が収録されており、平安時代の終わりに編さんされた説話集『今昔物語』に収載された話も紹介されている。

- ① 読んでみ ② 学んでみ ③ 知っとるけ ④ 読まんけ

(問題 52)

能美市福島町出身で「帝国ホテル」の社長に上り詰めた犬丸徹三^{いぬまるてつぞう}は、ホテル経営の改革に積極的に取り組み、日本で初めて()をオープンした。

- ① サウナルーム ② バー
③ バイキングレストラン ④ フォトスタジオ

(問題 53)

「平成の大合併」により、根上・寺井・辰口の旧3町が2005(平成17)年に合併され、()氏が初代能美市長に就いた。

- ① ^{なかだりょうぞう}中田良三 ② ^{さかいていじろう}酒井悌次郎 ③ ^{みやもとながおき}宮本長興 ④ ^{ひらたふみお}平田文雄

(問題 54)

能美市では九谷焼を用いたまちづくりが多彩に行われている。九谷陶芸村などの関連施設がそろい、年2回の茶碗まつりも開催され、「九谷の()」として強くアピールしている。

- ① 里 ② パイオニア ③ 楽園 ④ シンボル

(問題 55)

「^{まついひでき}松井秀喜ベースボールミュージアム」には、トロフィーやリングなど多くの記念品が飾られている。中には松井氏が6年間使用していた旧()スタジアムの実物のロッカーなど、珍品も展示されている。

- ① ドジャー ② エンゼル ③ ヤンキー ④ カウフマン

(問題 56)

旧根上町の町名は「根上松」が由来であり、松があった場所は（ ）の舞台になったとされる根上稲荷神社の裏である。

- ① 手取川の戦い ② 源平合戦 ③ 一向一揆 ④ 関ヶ原の戦い

(問題 57)

明治時代、産業九谷の「中興^{ちゅうこう}の祖」と称される能美市寺井町出身の九谷庄三^{くたにしやうざ}が完成させた彩色金襴手^{さいしききんらん}が欧米で有名となり、大量の九谷焼が海外へ輸出された。そのきっかけとなったのは 1873(明治 6)年の（ ）万博である。

- ① メルボルン ② パリ ③ ウィーン ④ フィラデルフィア

(問題 58)

能美市西任田町出身の佐々木^{ささき}守^{まもる}は、戦後の日本を代表する脚本家であり、テレビアニメ『（ ）』『巨人の星』をはじめ、手がけた作品数は 3000 を超えるともいわれる。

- ① ひみつのアッコちゃん ② タイガーマスク
③ アルプスの少女ハイジ ④ ハクション大魔王

(問題 59)

能美市が考案した「のびのび体操」は、全身の柔軟性向上と、足腰の筋力を鍛える動きを取り入れており、「いす編」「ゆか編」「立位編」「（ ）編」の 4 通りがある。

- ① 座位 ② 階段 ③ グループ ④ 応用

(問題 60)

能美市のコミュニティバス「のみバス」の 2019(令和元)年度新デザインには、市内全 8 小学校の児童が考えた「（ ）自慢したい能美市の風景やスポット」を採用した。

- ① 美しさを ② 世界に ③ 10 年後も ④ わたしたちが

